

コロサイ人への手紙 第2週 | キリストのビジョン | コロサイ人への手紙 1:15-20 口語訳

始まり:

1. こんにちは。私の名前はデビッドです。私は世代ディレクター、ヤングアダルト牧師を務めており、教育チームの一員として働いています。
 - a. [子供たちにあいさつ]
1. [シリーズの紹介と概要]
 - a. 概要:
 - i. 先週、ポー牧師はコロサイ人への手紙で私たちの教育シリーズを始めました
 - ii. コロサイと呼ばれる世界の多様な地域に住む1世紀のイエスの追隨者たちに宛てたパウロからの手紙。
 - iii. この古代の手紙から、私たちは、宗教や文化による同調圧力とは対照的に、キリストの復活によって確保される希望のゆえに、新しい人類、つまり新しい神の家族として生きるよう奨励されています。
 - b. [これから読まれる文章(またはすでに読まれた文章)の重要性を説明してください]
 - i. コロサイの多様な文脈の真っ只中に、キリストが誰であるかについてのこの濃密で深い信仰の表明があります。
 - ii. 今朝の聖句(1:15-20)はイエスに関する初期キリスト教信条です。
 - iii. 聖書を読むことができるなら、私と一緒に立ち上がっていただけませんか?
2. 文章を読む
 - a. "御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいつさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ちみちた徳を宿らせ、そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。- コロサイ人への手紙 1:15-20 口語訳
 - b. これは主の言葉です。
 - c. [会衆] - 神に感謝します。

初代教会の信条 - 行動は信念に従う

1. 初代教会では、信条、つまり私たちの信仰の伝統の広さと深さを要点に至るまで要約した信念表明を策定するために、多くの議論と作業が行われました。

- a. 例: ニカイア信条または使徒信条
- 2. なぜ彼らはこれらの信念表明に熱心に取り組んだのでしょうか？
 - a. 彼らはそれを知っていたから:
 - b. 行動は信念に従う。

行動は信念に従う

1. その信念が真実で良い信念であれば、これはすべて問題ありません
 - a. 人類の歴史の偉業のいくつかは、推進力のあるビジョン、何が善であるかについての信念から生まれました。:
 - i. マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師は、信仰に駆られて人々に、神の王国がどのようなものであるか、彼が「最愛の共同体」と呼んだもの、つまり将来の和解の現実と、どんな状況であってもすべての人々が平等に扱われることを一緒に夢見るように勧めました。彼らの肌の色は何であるか、それが主が望んでいることだからです。
 - ii. 彼は、これがアメリカでどのようなものになるかを人々に想像してもらい、次のように述べました。
 1. 「私には、いつかこの国が立ち上がって、その信条の真の意味を實踐するという夢があります。私たちは、すべての人間は平等に生まれてきたというこれらの真実を自明のことと考えています。」 - マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師、私には夢があります
 - iii. この信念のもと、彼は人々に行動を呼び掛けました。
 - iv. 肌の色に関係なく、すべての人は神の似姿に造られているというこの信念により、公民権運動は、たとえ生きてその姿を見られなかったとしても、愛するコミュニティのビジョンを現実にするために行動し、闘争することを余儀なくされました。彼らの労働の目標は達成されました。
2. しかし、世界や自分の信念が間違っていて邪悪であり、恐ろしいことを強いられていると私たちが理解するとどうなるでしょうか？
 - a. 歪んだ視野で物事を見ると、歪んだ信念が生まれます。
 - b. 誤った信念 - アメリカの人種差別 (分離されているが平等...でも実際には平等ではない)
 - i. 南アフリカのアパルトヘイト
 - c. 邪悪な信念が恐ろしい行為につながった最も極端な例の 1 つは、ヒトラー主導のナチス政権下でのユダヤ人の非人間化と大量虐殺です。
 - i. ナチスは、強い者だけが生き残ると信じ(社会ダーウィニズム)、栄光への道は権力と暴力を通してであり、ユダヤ人は人間以下であり、第一次世界大戦後のドイツの闘争の根源であると信じていた。
 1. このような信念は、障害者の安楽死や強制収容所などの残虐で邪悪な行為をもたらしました。
 - d. 私の博士課程の指導者であるジェイソン・クラーク博士は、講義の中でこう述べています。「悪い地図(意味を理解するための精神的枠組み)が、私たちに最もひどいことをさせるのです。」
3. 私たちの行動は私たちが本当に信じていることを明らかにします
 - a. したがって、自分の内側を見つめて、「私は本当に心の底では何を信じているのだろうか？」と自問することが重要です。これが神の美しい世界だと信じますか?私は愛さ

れており、目的があると信じていますか？人生に何が起こっても、神の愛から私を引き離すことはできないと私は信じますか？」

- b. 時々、私たちが信じていると言うことが、実際に信じていることと異なることがあります。そして、私たちの行動は、私たちの本当の潜在意識の信念を大いに明らかにします。
 - i. たとえば、個人的に言えるのは、神は寛大な父であり、自分のために蓄えるよりも寛大な人生を送るほうがより良い生き方であると信じているということです。
 - ii. しかし、私の時間とお金の扱い方を見てみると、希少性に対するより深い信念がわかるかもしれません。足りないという信念。神は寛大な父ではないし、私も他人に寛大になれないということ。
 - iii. もし私が潜在意識のレベルで、自分のお金は自分のものではないが、お金をため込むのではなく賢明な管理者になるべきだと本当に信じているとしたら、どうなるでしょうか？
 - iv. 寛大さにはより深い喜びがあると本当に信じていたらどうなるでしょうか？
4. 正しい信念は正しい行動につながる
- a. 私たちの行動は、私たちの意識的な価値観や信念と一致している可能性があります
 - b. あるいは、私たちの意識的な価値観や信念とずれているため、私たちを真に動かしているより深い潜在意識の信念が明らかになります。
 - i. 寛大さよりも溜め込むことを選択する必要があるという私の潜在意識の信念など。

イエスについての信仰は私たちの生き方に影響を与えます

1. これは今日の本文と何の関係があるのでしょうか？
 - a. 前に述べたように、これは初期の教会の信条であり、イエスが誰であるかについての信念を要約した短い声明です。
 - b. 私たちがイエスを誰と見、信じるか(イエスについての私たちのビジョン)はすべてに影響します。
 - i. それは私たちの生き方に影響を与えます
 - ii. したがって、私たちが聖書と御霊を通してイエスを明確に見ることが重要です [3Dメガネをかけた子供たちがイエスをより明確に見るように]
 1. もしあなたが部屋にいる子供なら、ポケットから2つのものを取り出してください...イエスの奇妙な * 絵が描かれたこのカードとこれらのメガネです。持って来たら！
 2. カードの絵を見てください。時々、イエスに対する私たちの見方はこのように歪められることがあります。この写真を見ていると目がおかしくなりませんか？この絵のように、私たちがイエスを間違っていると見ると、それは私たちの信念に影響を与え、それが私たちの行動、つまり私たちの生き方を通して流出します。
 3. さあ、これらのメガネを手にとってください。これらは神の言葉と聖霊を表すことができます。時間をかけて聖書を読み、それを自分の中に取り入れると、イエスのことがよりはっきりと見えます。また、私たちに見る目を与えてくださるよう聖霊を招く必要があります。さあ、メガネをかけてもう一度見てください！絵がどのように鮮明になるか、イエスがページから離れても生き生きとしているのがわかりますか？

4. 私たちがイエスを正しく見て理解するとき、イエスが誰であるかについての私たちの信念は、イエスが私たちのために計画された充実した活気に満ちた人生につながります。私たちの行動、生き方は神に根ざしたものになります。
 - iii. [高校生の頃、イエスをよりはっきりと見て、イエスに従わざるを得なくなった私の物語...
 - iv. 聖書を読むことで、私にとってイエスがどのような人物であるかがより明確にわかりました]
- c. そうは言っても、この古代の信条を深く掘り下げて、イエスについてのビジョンを広げてみましょう。

文章:

1. 警告: これは神学的に詰め込まれた、密度の高い、深い文章です。
 - a. 今朝、この信条で探究すべきすべての岩をひっくり返すことができればいいのにとおもいます。
 - b. しかし、それがイエスに従う人生の素晴らしさではないでしょうか。
 - c. この聖句の複雑さと奥深さを何年も考え続けても、私たちの主についての素晴らしい真理を発見することができます。
 - d. それにも関わらず、時間の都合と明確さのために、このテキストでは3つの質問をします。:
 - e. 世界の真の主は誰ですか？この人はどのようにして世界の主になったのでしょうか？そして、これは私たちと私たちの未来にとって何を意味するのでしょうか？
 - f. この聖句から、私たちはイエスの中に答えを見つけます。
 - g. 15節から始めましょう。
2. 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。
 - a. ここでの長子とは、イエスが創造されたことを意味するものではありません。
 - b. イエスは万物の創造の初めに父なる神、聖霊なる神とともにおられました。
 - c. この文脈での長子とは、この節のテーマである、すべての被造物に対するイエスの偉大さである階級を指します。
 - d. これはシーザーが支配する世界では過激な発言だ。
 - e. 実際、目に見えない神の像に関するこの記述は特に魅力的です。
 - f. ローマ人へ: 神のイメージ = カエサル
 - g. 聖書は神の像について何と言っていますか？
 - h. 創世記 1:26-28: 人間は神の似姿に造られました。
 - i. 私たちが神に似ているからではありません。
 - j. しかし、私たちは神と被造物を共同統治するために創造されたので、
 - i. 神の究極の権威の下で、愛情を込めて被造物を世話し、その権威を行使します。
 - k. カエサルという一人の男がすべてを支配するというビジョンとは異なり、聖書の物語は、愛に満ちた神が被造物を支配する権威を分かち合う想像を私たちに促していることがわかります。ただし、それは愛情深く思いやりのある方法で、神の究極の権威の下にあります。

- l. これが私たちが創造された理由です。神の素晴らしい創造物を世話し、(神から与えられた創造力で)さらに素晴らしいものにするので、(神の究極の権威の下で)神と共同統治するためです。
 - i. 店主が店の管理を経営者に委ねるように、人間は創造主の権威のもとで万物すべてに対する管理と指導を任されていました。
 - m. しかし、私たちが自分の人生で示しているように、私たちは究極の支配者になりたいと思っています。
 - n. 私たちは自分たちの都合で物事を進めたいと思っています。
 - o. 私たちは神の意志が行われることよりも、自分の意志が行われることを望みます。
 - p. エデンの園では、人類は神の究極の権威に服従せず、むしろ、自分たちの意志を実行するという神の意志に従わなかった。
 - q. しかし、人類が壊したものを回復するという神の救いの計画の中心となるイエスは、目に見えない神の似姿です。
 - r. しかし、道に迷った不従順な像保持者である私たち人間とは異なり、この究極の像保持者であるイエスは、別の園(ゲツセマネの園)で別の木(十字架)に面しているとき、人間とは逆の選びました。イエスは「私の意志が行われるのではなく、あなたの意志が行われますように」と祈りました。
 - s. イエスは神の究極の姿であり、愛ゆえに父の御心に服従し、人類を救い、神と共同統治する神の姿であるという真の目的に私たちを取り戻すために十字架で亡くなります。
 - t. これはすごいと思いませんか？そしてこれは、イエスに関するこの古代の信条の最初の数語にすぎません。
 - u. さあ、続きましょう。
- 3.** 「というのは、天においても地においても、目に見えるものも目に見えないものも、王座、支配権、支配者、権威など、すべてのものは彼によって創造されたからです。すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されたからです。そして彼はすべてのものの前にあり、彼の中ですべてのものはまとまっています。そして彼は教会という組織の頭なのです。」
- a. このテキストには、すべてのものに対するイエスの偉大さへの信念がにじみ出ています。見えるものと見えないもの。物理的な世界でも、精神的な世界でも。
 - b. それは、全世界の主とは誰ですか？という質問に明確に答えています。イエスと一緒に！
 - c. キリストに関するこの信条は、驚くべき深遠な言葉で、すべての被造物に対する主としてのイエスの偉大さを宣言しています。
 - d. これらは、シーザーが統治する古代世界における過激な発言です。
 - e. すべてのもの、すべての王座、統治権、支配者、権威の前に存在するのか？!
 - f. これは、この時と場所において、ローマ帝国の統治者であるカエサルのために予約されています。
 - g. しかし、本当に権力を握っているのは誰でしょうか？
 - h. イエス様はそうです。
 - i. さて、もちろん、この世界には、目に見えるもの、目に見えないものを問わず、邪悪であり、イエスの権威、主権を認めていない現実があります。
 - j. 人身売買、人種差別、戦争、暴力などの現実、世界がいまだあるべき姿ではなく、キリストの主権がまだすべての人に認められていないことを示しています。
 - k. しかし、常にそうとは限りません。

- l. パウロがピリピ人への手紙 2 章のキリストについての別の初期の信条の中で宣言しているように、「イエスの御名によって、天と地と地の下ですべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが栄光の主(カエサルではない!)であることを告白する」父なる神のものです。」
 - m. すべての上の主であるイエスの偉大さは、遅かれ早かれ認識されるでしょう。
 - n. そして、この初期の教会信条の後半で、私たちはイエスがどのようにして全世界の主となったかを思い出します。
 - o. これが 2 番目の質問です。一つ目は、世界の真の主とは誰なのか、それはイエスです。次の質問は、イエスがどのようにして世界の真の主になったかということですが、これについてはすぐに説明します。
 - p. それでは、想像力と心を希望で満たしていきましょう。
4. **彼は始まりであり、死の中から最初に生まれた者であり、すべてにおいて優れているためです。**
- a. これについて少し考えてみましょう。
 - b. カエサルの敵は、彼の主権を認めることを拒否した国々と人々でした。
 - i. そして、十字架として知られる古代の拷問と処刑の道具を使用して、暴力と恐怖によって敵を倒します。
 - c. しかしイエスにとって、最大の敵は人々や帝国ではなく、死、闇の霊的勢力、悪でした。
 - d. そしてイエスは死に打ち勝たれました！このセリフ(「彼が傑出するために、死者の中から最初に生まれたのです。」)はこれを強調しています。
 - e. **キリストはいかなる悪の力よりも優れているだけでなく、神の最後の最も恐るべき敵である死そのものを統治する方でもあります(1コリント15:26)。- ニジェイ・グプタ**
 - f. イエスは死と復活によって死と闇の力を打ち負かしました。
 - g. しかし、それで終わりではありません。
 - h. 彼の復活は、私たちと創造物全体にこれから起こることの前触れです。
 - i. **それは私たちの未来へのヒントです！**
 - j. 神がイエスの復活においてなされたことは、イエスに従う者たちの将来の復活の前兆です。
 - k. 私たちは保証として聖霊を持っています。「もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」ローマ人への手紙 8:11
 - l. これが私たちの希望です！イエスにおいて闇の支配は終わりました！死は敗北するので、死には最後の決定権はありません。
 - m. 皆さん、私たちはイエスに関するこの信条の深さをまだ理解していません。続けましょう:
5. **というのは、神の満ち足りたすべてが彼の内に宿り、20 そして彼を通して、地にせよ天にせよ、万物をご自分と和解させ、十字架の血によって平和を実現することを望んだからである。**
- a. これはキリストの神性についての深遠な声明です - キリストは完全に神であると同時に完全に人間です
 - i. イエスは神です。そしてイエスは人間です。なぜなら、彼は目に見えない神の似姿だからです。

- ii. ヘブライ人への手紙 1 章には、「彼は神の栄光の輝きであり、神の性質の正確な痕跡である」と書かれています。
- iii. 神が誰であるかを知りたければ、イエスを見なさい。
- b. 私はこの神学的に詰まった言葉を少し強調したいと思います：「**住む**」
- c. この「住む」という言葉は、神と神の民が神の良い世界で共に暮らすという聖書の物語の中心にあります。
- d. 話はこうなる：
 - i. 神と人類はエデンの園に住んでいました。
 - ii. 人類は罪を犯し、神の臨在への完全なアクセスから追放されました
 - iii. しかし、神は罪深い人類によって破壊されたものを回復する使命を始めました。
 - 1. 選んだ民とともに天幕に住み、後に神殿に住むのと同じように...
 - iv. 神の満ち足りたすべてがイエスのうちに宿ることを喜んでいた
 - v. そして今、イエスは父のもとに昇り、聖霊を送って私たちとともに、私たちの内に住まわれました。
 - vi. そして今、私たちは聖霊が私たちの内に住まれ(私たちの中に住んで)、神の良い未来を予感させるという使命のために私たちに力を与えて、神の神殿を歩いています。
 - vii. そして神の未来とは何でしょうか？
 - viii. 黙示録 21 章にあるように、いつか、万物が新しくされ、神の王国が天と同様に地にも満杯となる時、神は人類とともに住むことになります。
- e. **これが世界が向かう未来です...20節がそれを強調しています**
- 6. **そして、地上であろうと天であろうと、彼を通してすべてのものをご自分と和解させ、彼の十字架の血によって平和を実現します。**
 - a. この聖句は、私たちが死んだら天国に行くということではありません。
 - b. いいえ、それ以上のことが言えます。
 - c. それは、イエスがどのようにして万物の王となったのか、そしてすべてのものを私たちの愛ある創造主である神と和解させようとする彼の意図についてです。
 - d. 十字架による暴力と恐怖によって王権を得て維持したカエサルとは異なり、イエスは十字架上で愛する人たちのために謙虚に苦しみ、死ぬことによって王になりました。
 - e. 「十字架の血によって平和を実現する」というこの一文は、誰も予想していなかった深刻な矛盾です。
 - i. 十字架の逆説は、イエスにとって、王としての勝利と栄光への道は、苦しむ僕としての死と屈辱を通ったということです。
 - ii. これを聞いてあなたの心は驚きと私たちの王イエスへの愛で高揚すると思いませんか？
 - iii. 私たちの王が私たちのためにこれをしてくれたという事実は驚くべきことです。
 - f. イエスとは異なり、シーザーは十字架を使って人々を脅して服従させることで平和を実現しました
 - g. 今日、私たちは十字架を愛の究極の象徴とみなしています。
 - h. 私たちのアパートには十字架のイヤリング、Tシャツ、タトゥー、十字架が飾られています。

- i. しかし、1世紀の人が十字架を見たら、深く不安な恐怖に襲われるでしょう。拷問器具だよ！
 - j. しかし、他の王たちが恐れを抱いて権力を振るうとき、イエスは権力を放棄し、私たちへの愛のゆえに十字架で死んでくださいました。
 - k. 十字架刑ほど恥ずべき、残忍な死はありませんでした。
 - l. ローマの哲学者キケロは、十字架刑として知られる処刑の形式を「恥の木」と呼びました。
 - m. しかし、イエスは何をしたのでしょうか？ヘブライ 12:2 (ESV)
 - n. イエス、「彼の前に置かれた喜びは、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座っているからです。」ヘブライ 12:2 (ESV)
 - o. イエスは十字架の恥を無力なものとして明らかにされました。
 - p. 古代世界における十字架の力は恐怖だった
 - q. イエスは十字架の力を逆転させ、十字架が最終的に愛の究極の象徴となったのです。
 - r. 完璧な愛は恐怖を追い出す-ヨハネ第一 4:18
 - i. それについて少し考えてもいいですか？古代世界で最も強力な恐怖の象徴であるイエスは、無力であることを明らかにしました。
 - ii. 私たちは何を恐れているのでしょうか？
 - iii. 私たちの心が震える原因は何でしょうか？
 - iv. B4チャーチの皆さん、私はこれで皆さんを励ましたいと思います。イエスが恐怖のためにその十字架の力を空にし、それを愛の強力な象徴に変えたとしたら、私たちの神にとってそれほど難しいことはありませんか？
 - v. 自分の恐れを神に渡して、「主よ、これは私の恐れです。」と言うのはどのようなことでしょうか。私の魂からそれを追い出して、あなたの愛に置き換えてもらえませんか？
 - vi. その恐怖を受け止め、それを認識し、それに名前を付けて、こう言ってください。「あなたにはここでは何の力もありません。あなたはイエスの名において追い出されるのです。」
7. それでは、本文で取り上げた3つの質問に対する答えを要約しましょう:
- a. 世界の真の主は誰ですか？この人はどのようにして世界の主になったのでしょうか？そして、これは私たちと私たちの未来にとって何を意味するのでしょうか？
 - b. イエスを答えとして、私たちはこれを学びます:
 - i. 世界の真の主はイエスです。
 - ii. イエスは死と復活によって、闇と死の力に対する勝利を通して主となりました。
 - iii. 私たちの未来はこれです。復活と私たちの真の故郷への帰還、つまり天国と同じように地上にも神の臨在です。
 - iv. だからこそ、私たちは希望を持つことができるのです。

彼らはこれをどう聞くでしょうか？

- 1. ローマの支配下に住んでいる人がイエスについてのこの宣言を聞いているところを想像してみてください。

2. シーザーが支配する世界で、この告白を握り続けることを想像してみてください。
 - a. これは告白です。世界で最も強力な者は、実際には最も強力ではありません。
 - i. 実際、真に権力を持っているのは誰であり、真にすべての主であるのは、目に見えない神の似姿であるイエスです。
 - ii. そして、イエスはどのようにしてすべての主となり、世界の王座に就くのでしょうか？
 1. もし彼がシーザーの戦略を使っていたら、邪魔する者には十字架を使って恐怖と暴力を振るうことになるだろう。
 2. しかし、そうではなく、愛と恵みをもって来られ、神の敵である私たちのために十字架で苦しみを受けてくださいました。
 - iii. このため、神は世の真の主であるイエスを通して、すべてのものをご自分と和解させています。
 1. これが何を意味するか知っていますか？
 - a. 希望がある。
 - b. 希望を必要とするこの世界で、私たちは希望の民になれるのです。
 - c. それは、イエスが死に勝利されたため、闇の力がまだ存在しているにもかかわらず、致命的な打撃を与えられたことを私たちが知っているからです。
 - i. 神は御子の中、御子を通してすべてのものを救い、回復し、癒しておられます。
 - ii. そしていつか、私たちが楽しみにしている日が来ると、痛みも苦しみも悪もなくなるでしょう。
 - iii. 天と地は一つになります。
 - iv. そして私たちは永遠に神のもとに帰ることになります。
 - d. これは、この世で何が起ころうとも、私たちが持ち続けなければならないキリストの告白です。
 - b. これを私たちの存在の核心まで本当に信じたらどうなるかを想像してみてください。
 - i. つまり、この告白、つまりイエスが主であり、神はイエスにおいてすべてをご自身に贖っておられるという、キリストがどのような方であるかというこの告白は、私が自分自身に思い起こさなければならないものなのです。
 - ii. しかし、もし私たちがビーバートン、ヒルズボロ、ポートランド、タイガードに住むイエスの追隨者として、この不安な世界のただ中でイエスについてのこの信念を堅持したとしたらどうなるだろうかと想像してみてください。
 - iii. そして、この信念が潜在意識の内側から外側の行動に至るまで、私たちをどのように形作っていくのか想像してみてください。

招待:

1. 行動は信念に従うものです...イエスが誰であるかについて、潜在意識のレベルまで信じてみましょう。
 - a. なぜなら、イエスが誰であるかを私たちが理解することはすべてに影響を与えるからです。それは私たちの世界の見方(キリストが主である)を変え、私たちの生き方(キリストが王である王国の国民として)を変えます。
2. 課題 (特に学生と子供向け): この一節を暗記してください。

- a. 「このメガネを覚えていますか？神の言葉は私たちにイエスについての正確な見方を与えてくれます。そしてその見方はすべてに影響を与えます。」

告白 - 告白教会を率いるボンヘッファー

1. 第二次世界大戦中のナチス・ドイツに戻りましょう。これは、邪悪な信念が悪魔のような行動につながった完璧な例です。
 - a. この時代、ドイツキリスト教徒と呼ばれる政治的・宗教的グループが存在しました。
 - b. 彼らは、自分たちの主要なアイデンティティはキリスト教徒ではなくドイツ人であると信じていました。
 - i. 彼らは神の王国は暴力によってもたらされると信じていました。
 - ii. 彼らはヒルターを支持した。
 - iii. 彼らは苦しみを避けるべきものだと考えていました。
 - iv. そして彼らは権力を求めた。
 - c. しかしドイツには告白教会として知られるものがありました
 - i. 彼らはそう信じていた
 1. 彼らの主なアイデンティティはドイツ人ではなくキリスト教徒でした。
 2. 彼らはイエスに関する聖書のビジョンを堅持しました
 3. 彼らはヒトラーに反対した
 4. 彼らは苦しみがキリスト教徒の生活にとって不可欠であると考え、特にそれが最も弱い立場にある人々、つまり彼らの文脈ではユダヤ人の苦しみに関わる場合にそうでした。
 - d. この運動の主導的な人物の 1 人がスライド - ディートリッヒ ボンヘッファー (下の写真) (彼の話は興味深いものです - 彼のことをよく知らない人は、彼の人生について学んでください)



- i.
- ii. 彼の信仰は、聖書に明らかにされているように、彼がキリストを信じていることに根ざしていました。
- iii. 彼は、苦しむ人々とともに苦しむ神に仕えていると信じていました。
- iv. そして彼は、弱い立場にあるユダヤ人コミュニティの側に立とうとする強力なヒトラーに反対した。
- e. この信念のせいで、彼がナチスによって処刑されたのも不思議ではありません。

結論

1. B4チャーチの皆さん、私たちはイエスのこのビジョンにとっても感動し、他者への愛ある奉仕に人生を送らずにはいられない人々になりましょう。
2. イエスが全世界の主であり、イエスの愛の中で私たちは安全であり、私たちの将来が安全であると信じましょう。

3. 不安な選挙の年の真っ只中に、私たちがキリストについてのこの信条を思い出し、主に忠誠を誓い、不安のない存在でいられますように。
4. そして私たちも、心の底から(潜在意識のレベルであっても)そう信じられますように。
 - a. 「彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。16 というのは、天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座も統治領も支配者も権威も、すべては彼によって創造されたからであり、すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されたからです。17 そして、神は万物に先立って存在し、神の内に万物は一つにまとまっている。18 そして彼は教会という組織のかしらです。彼は始まりであり、死の中から最初に生まれた者であり、すべてにおいて優れているためです。19 なぜなら、神の満ち足りたすべてが彼の内に宿ることを喜んでおり、20 そして彼を通して、地にせよ天にせよ、すべてのものをご自分と和解させ、十字架の血によって平和を実現しようとしたからである。

返事の時間:

1. イエスのところに来なさい
2. 来てください、聖霊よ、私たちの目を開いてイエスをもっとはっきりと見てください
 - a. [メガネをかけた子供たちのように]

祝祷

イエスがどのような人物であるというあなたのビジョンが聖文によって形作られ、御霊によって照らされ、他の人たちに愛を持って奉仕するあなたの人生に影響を与えることができますように。